

牛田中だより

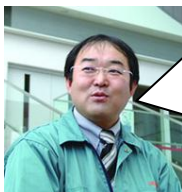
平成24年度
11月号
広島市立牛田中学校
(Tel221-9073)

合唱祭・創立50周年記念式典

10月26日(金)、上野学園ホールにおいて合唱祭・創立50周年記念式典を開催しましたところ、多数の皆様にご来場いただき、生徒たちの頑張る姿を温かく見守っていただきました。ありがとうございました。

合唱練習は本格的には9月中旬からの短期間の取組でしたが、協力と思いやりの心、積極的に参加し活動する態度などを身につけ、それぞれの“学年らしさ”を一層深めることができたと思います。

各学級で取り組んだ歌声をホールに響かせ、さらには創立50周年記念式典においては植松努さんによる講演「思うは招く～夢があればなんでもできる～」を楽しく聞かせていただき、とても思い出深い一日となりました。



植松努さん

- ・子どもの頃から紙飛行機が大好きで、宇宙にあこがれていた。
- ・大学で流体力学を学び、実家のある北海道で中小企業を経営し、ロケット開発に取り組んでいる。
- ・最初「ロケットを作る」と言ったら、「どーせ無理！」と言われた。
- ・「どーせ無理！」と口にする大人が、子どもの可能性をつぶしている。
- ・「だったら、こうしてみたら？」という言葉が夢を広げる。
- ・知りたいこと、やりたいことを見つけて自分の進路を考えて欲しい。
- ・楽をすると無能になる。楽しくなく、楽しいことを探そう！
- ・「失敗したらどうしよう？」⇒失敗を何かのせいにはしてはいけない。特に、自分のせいにはしてはいけない。失敗は、成功につながるデータだ。

守・破・離

10月9日(火)、後期始業式において次のような話をしました。

これから後期を過ごすにあたり実行して欲しいことは、前期に引き続き、思いやりの心を持って笑顔があふれる学校づくりに取り組むとともに、後期は「チャレンジする」ということです。漢字一文字で表すと「挑」です。

自分の将来にむけて、夢を持ち続け、その夢の実現に向けてチャレンジして欲しいと思います。そのためには努力が必要ですが、努力とは「できないことを成し遂げるため、今できることを繰り返すこと」です。ひたむきに努力を重ね、色々なことにチャレンジして欲しいと思いますが、何でもいから難しいことを闇雲にチャレンジすることは、望ましくないとします。

そこで、今日は「守・破・離」について話をします。

「守」 最初の段階では、できるだけ多くの人の話を聞き、決められた形や先生の教えを守って、それを繰り返して基本を取得する

「破」 次の段階で、先生の話を守るだけでなく、身に付けた基本をベースにしながら自分なりの工夫をして、徐々に基本を破り発展する

「離」 最後の段階では、形や教えから離れて独創的なオリジナルの個性を発揮する

先生の話だけではなく、友達が努力していることをまず真似をしてみましょう。「真似ること」が即ち「学ぶこと」です。友達から色々なことを学んで、是非、積極的にチャレンジをしてみましょう。

頑張っています！～部活動等の成績～

広島県総合体育大会

バドミントン男子 団体優勝
柔道女子個人ベスト8 宮口夏

◆学校諸費納入◆

(円)

	1年	2年	3年
給食あり	5,565	8,515	5,565
給食なし	0	2,950	0

※引き落とし日 11月5日(月)

※手数料が10円かかります。